

第16回 西諫早小校区語らん場 を開催しました

自治会、老人会、民生委員、福祉協力員、いきいきサロン、自主サークル、介護・医療の専門職、民間企業の方、計68名の方にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

月日：令和6年11月26日（火）
場所：西諫早公民館 講堂

～今回の語らん場の内容～

- ①講話：なぜ、今、語らん場が必要なのか？西小校区の高齢化率、2025年問題と対策について。
- ②発表：「見守り」をテーマに、3人の方より発表。
(セブンイレブン諫早馬渡店移動販売、カサマツ薬局薬剤師、デイサービスこもれび生活相談員)
- ③グループ意見交換：テーマ「地域での見守りについて」



参加者の皆さんで **地域での見守り** についてグループで意見交換しました。

◆地域で見守っている人ってどんな人？

グループで出た意見や発表内容の一部をご紹介します

- ・1人暮らし高齢者や高齢夫婦
- ・日中独居の高齢者
- ・足が悪くて外出が難しい方
- ・認知症状がある方
- ・子ども
- ・自治会加入者
- ・障がいのある子どもや家族
- ・詐欺にあいそうな人 (電子マネーを買う)
- ・ゴミ出しが困難な人 など

◆自分だったら、どう見守ってもらいたいですか？

- ・日頃の挨拶をしてほしい。
- ・「元気？」と声かけてほしい。
- ・ゴミ出しなど困り事から声かけしてほしい。
- ・電気がついたままや新聞がとれていないときは、近所に知らせてほしい。



- ・近所からそっと見守ってほしい。
- ・町内で見守り隊があるとよい。
- ・回覧板は直接手渡してもらう。内容を呼んでもらって次に回してもらったら助かる。
- ・別れるときに「また来るね」と声かけてほしい。

今回は、地域の見守りをテーマに、様々な立場の方々が顔を会わせて、その地域、その人にあった見守り方があることを情報交換することができました。今後も、地域の実情に合わせた地域づくりを推進していけるよう、一緒に伴走していきたいと思っております。

北部地域包括支援センター生活支援コーディネーター 田浦